

「平成30年度 第2回 出前シンポジウムin熊本」開催報告

産総研九州センターは、平成31年2月18日（月）にKKRホテル熊本（熊本市）において、「平成31年度 第2回 出前シンポジウムin熊本」を開催しました。

本シンポジウムでは、『AI・IoTが拓く社会と産業の将来』をテーマに、AI・IoTが社会や産業をどのように変革し得るかを概観するとともに、産総研におけるAI・IoT技術の研究開発や、産総研と公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）との協定に基づく取組み等について紹介し、活発な意見交換がなされました。

当日は、企業や大学、県の関係者等から66名の参加があり、盛会のうちに終了しました。

産総研九州センターは、今後も、九州各地において地域のニーズに合ったイベント等を企画予定です。

産総研
DEMAE Symposium in KUMAMOTO
 平成30年度
出前シンポジウム in 熊本

AI・IoTが拓く社会と産業の将来

AI・IoTは、ものづくりの「円滑化」が抱えている人手不足、技能の伝承、第4次産業革命とデジタル化への対応、生産設備の保守コスト削減等の課題を解決し、生産性向上、プロセス変革、オープンイノベーション、現場力強化、付加価値の創出・最大化をもたらす技術として注目されています。

本シンポジウムでは、このような AI・IoT が私たちの社会や産業をどのように変革し得るかについて概観するとともに、産総研が取り組んでいる、AI・IoT 技術の研究開発、協定に基づく公益財団法人九州先端科学技術研究所との取組み等について紹介します。

基調講演 13:40～14:40
 「人工知能技術とその使い方」
 産総研 人工知能センター 副研究センター長 府生 英樹

特別講演 14:40～15:40
 「地域と企業の AI・IoT 化を支援する ISIT の取り組みについて」
 公益財団法人九州先端科学技術研究所 専務理事・副所長 荒牧 敬次郎

講演 16:00～17:30
 「センサネットワーク社会に向けた変化する産業の現状」
 産総研 先端技術総合研究所 センサ技術研究グループ 主幹 野村 大
 「気候特許を活用した 熊本産産支援について」
 九州電力、先端技術総合研究所との協定について 佐々木 昌
 九州電力株式会社 電力システム部 技術開発課 本元 聡志
 「中堅・中小企業等における標準化の組織的活用について」
 一般社団法人熊本県協会 標準化推進部 部長 佐藤 博

開催日時
 2019年 2月18日(月) 13:30～17:35
 ※交流会 17:45～19:30

開催場所
KKRホテル熊本
 2階ローズルーム
 熊本県熊本市中央区千葉浦町3-3-1

参加費
 無料（但し交通費は有料）

協賛先
 公益財団法人 産総研九州センター
 産総研技術総合研究所 九州センター
 出前シンポジウム事務局
 TEL (0942) 81-3606 FAX (0942) 81-4089
 E-MAIL : e_demaesymposium@ipc.krc.go.jp
 URL : <https://www.aist.go.jp/kyushu/>

【主催】一般社団法人熊本県工業連合会、公益財団法人産総研九州センター、熊本県産業振興協議会 セミコンIT産業部会、熊本県

日時	平成31年2月18日（月）13:30～17:35（交流会 17:45～19:00）
場所	KKRホテル熊本 2階「ローズルーム」
主催	国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）九州センター、熊本県、一般社団法人熊本県工業連合会、熊本県産業振興協議会 セミコンIT産業部会

シンポジウムの様子

